

交流の更なる推進のために台湾を訪問

2月13日～16日 台湾南投県、水里郷、野柳地質公園

南投県政府を表敬訪問

村田市長を団長とする16人の友好交流訪問団は、13日午の午後、平成23年11月に「友好交流促進の確認書」の調印を行った、台湾の南投県政府を表敬訪問しました。

南投県政府では、陳志清代理県長（副県長）より、「南投県として初めて台湾ランタンフェスティバルを開催するにあたり、美祢市は初めての海外訪問団である。」との挨拶がありました。これに対して村田市長は、「本市では美祢青年会議所が主体となってランタンフェスティバルを開催する計画があり、いろいろと勉強させていただきたい。」と述べました。



陳志清南投県政府代理県長（副県長）との記念撮影

水里郷公所を表敬訪問

訪問団は14日昼、昨年4月に美祢市において「友好交流促進確認書」の締結を行い、8月にはふるさと人材育成事業で美祢市の中学生が訪問した水里郷公所を表敬訪問し、子どもたちによる太鼓の出迎えと職員による熱烈な歓迎を受けました。

江龍漢郷長より、「今後は農業視察団を派遣し、学生の交流も含めた様々な交流を行いたい。」との挨拶があり、村田市長は、「水里郷の心のこもったおもてなしに感動するとともに、これからも水里郷との関係が未来永劫続くことを希望する。」と述べました。



大歓迎により水里郷公所に入る訪問団

2014台湾ランタンフェスティバル 点灯式に村田市長出席

台湾政府交通部観光局が主催する台湾ランタンフェスティバルは、参観者1,200万人を超える国家イベントです。今年は14日昼～23日回までの間、南投県で開催され、村田市長は日本からの訪問団代表として点灯式に出席をし、呉台湾副総統とも握手を交わしました。

水里郷のブースには、美祢市の紹介もあり、美祢市における新たな台湾交流イベントの開催に向け、この度の参加は大変有意義なものとなりました。



点灯式に出席する村田市長

台湾でジオパーク認定を目指す野柳地質公園と「観光交流・学術交流促進に関する協定」を締結

この度、本市と台湾のさらなる交流を推進するため、一般社団法人美祢市観光協会（山本勉会長）と野柳地質公園（台湾新北市）の管理運営企業である新空間国際有限公司（楊景謙総経理）が「観光交流・学術交流促進に関する協定」を締結しました。

美祢市観光協会にとっては、初の海外事業であり、新空間国際有限公司（野柳地質公園）にとっても日本側と締結する最初の協定となりました。

秋吉台・秋芳洞をはじめとする秋吉台国定公園と、日本の国立公園に当たる台湾の野柳地質公園は、それぞれ景勝地として多く観光客を受け入れています。その学術的価値についても、形成環境や年代、岩石そのものは異なっているものの、とても高い評価を受けており、また、野柳地質公園はジオパーク認定を目指しており、秋吉台・秋芳洞を中心とした市内地域のジオパーク認定を目指している当市と共通点もあります。

両地域における包括的な提携は、単に観光交流人口の拡大による経済の活性化というだけでなく、学術研究、教育活動、環境保全や公園の適正な管理運営手法の共有といった方面においても相互に多大な恩恵をもたらすことが予測されます。

また、将来的には二地域間だけの提携ではなく、世界中の自然公園と有機的に繋がり、国際的な各種活動を展開することが期待できます。

【協定式 山本会長挨拶】

（一社）美祢市観光協会 山本会長が、「この協定を契機に、観光交流人口の拡大や学術分野での交流を推進していきたい。」と挨拶されました。



【協定式】

15日（土）11時30分から、野柳地質公園2階会議室において、（一社）美祢市観光協会 山本勉会長と新空間国際有限公司 楊景謙総経理が協定書にサインを行いました。

写真左から、秋山市議会議員、村田市長、山本市観光協会会長、楊景謙新空間国際有限公司総経理、陳美秀台湾交通部観光局北海岸及観音山国家風景区管理处処長、頼俊達萬里區區長

【公園内視察】

協定式終了後、野柳地質公園職員の案内により、代表的な女王頭（クイーンズヘッド）など大自然の力によって創り出された景観の視察を行いました。



農林業の経済交流を推進

16日（月）回、前台北駐福岡経済文化弁事処の領事で、現在外交部亜太司の一等秘書回部弁事である黄水益氏の紹介により、台日産業交流委員会会長の翁錦棟博士と、村田市長、大呑カルスト森林組合長、弘永山口美祢農業協同組合代表理事組合長が経済交流について懇談をしました。また、村田市長は、「来年5月、福岡来られる際には美祢市にもお越しいただきたい。」と伝えました。

